

ICT活用NEWS 37

Information & Communication Technology

平成29年11月22日(水)発行
日野市教育委員会ICT活用教育推進室

今年度から中学校にも導入された

インタラクティブスタディとは？



★インタラクティブスタディとは・・・

○基礎基本の完全習得学習

- ・単なる繰り返し学習ではない。
- ・得意なところと苦手なところをコンピュータが学習履歴をもとに診断し、学習者に適した補充や発展的な課題に取り組める。

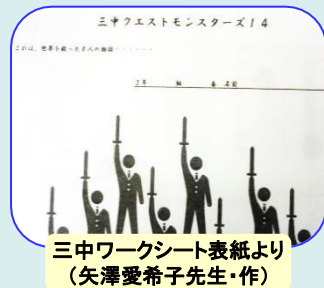
⇒自分のペースで納得できるまで、主体的に学習課題に取り組める。

○学習履歴による的確な個別指導・個別学習

- ・学習者一人ひとりの学習履歴が詳細に残る。

⇒先生) クラス全体の理解状況や個々の学習者の学習履歴を分析し、指導に生かせる。

⇒学習者) 自分の苦手な部分に気づくことができ、学習に生かせる。



三中ワークシート表紙より
(矢澤愛希子先生・作)

<みんなでスタディ>

- ・クラス単位で授業中に使う。
- ・単元のまとめで1時間活用するだけでも学習効果がある。
- ・先生は、授業中に学習者の学習進度、理解状態などをリアルタイムで確認できる。
⇒支援が必要な学習者のつまずきをその場で指導することができる。
- ・あらかじめ、担任の先生が教材登録をしておく。
⇒最初はクラス全員が同じ教材をやる。

設定された教材を始める状態になるので、学習者が教材を選ぶ必要はない。

- ・教材が早く終わった学習者のために、その他の教材も複数登録しておくことができる。

<ひとりでスタディ> (今年度から、「ひとりでスタディ」でも学習履歴が残るようになった)

- ・学習者がひとりずつ自分で教材を選んで学習をする。 ⇒補習などでの活用に最適。

POINT!・学習ではノートをきちんと使う

⇒ゲーム感覚だったり、あてずっぽうで解答したりすると、その学習者の理解状態に応じた適切な補充問題が出されず、学習効果が上がらない。

先生方の声...

子供が自分のペースで学習できる

取り組みに集中できる
(でも1時間が限界?)

「自分の苦手なところがわかる」と子供たちが言います!

あらかじめ教材が用意されているので助かります

補習で使っています!!

何らかのつまずきがある場合特に有効だと思う

子供の楽しそうな表情が目立つ

夏休みの補習風景

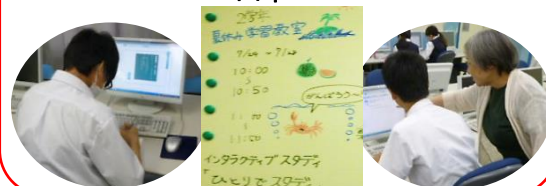
一中



三小



四中



日野第三中学校の授業風景



3年生の単元のまとめとして活用しました。ゲーム感覚で何となくやるのではなく、考えながら1つ1つの問題に取り組ませるために、ワークシートを用意しました。(理科・矢澤愛希子先生)